

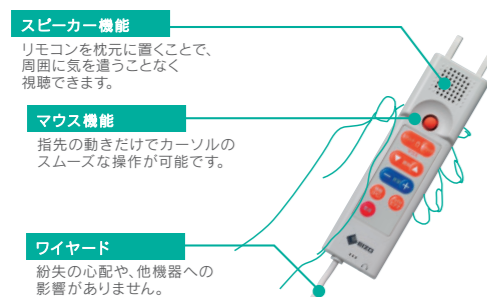
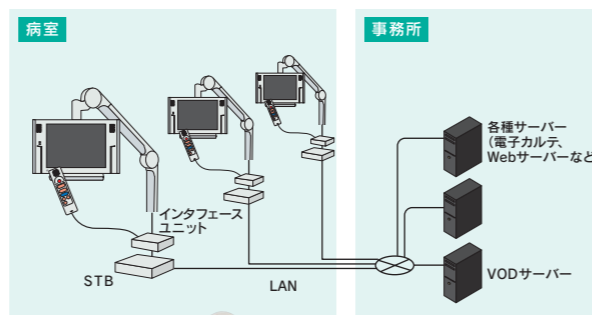
アーム式液晶テレビ／マルチモニター

FlexView®

療養生活中的テレビやインターネット用の端末として、
医療画像の表示端末として、
ベッドサイドに新しい快適と信頼を提供します。



高品位な画像を提供するTFT液晶パネルに、フレキシブルに動くアームを一体化させたFlexView。療養生活の中でテレビやDVD、インターネットを楽しむモニターとして、院内のネットワーク端末用モニターや歯科向けの画像システム表示端末として、幅広いラインアップから最適なものが採用できます。可動範囲が広い専用アームにより、ベッドサイドを有効に使える省スペース性も実現。豊富な取付ユニットと組み合わせてベッドボードをはじめメディカルボード、床頭台や壁面とさまざまな設置場所に対応します。



8.0型アーム式カラー液晶テレビ FlexView® 81A

テレビやDVDの鑑賞用途に最適な液晶テレビです。コンパクト仕様で取付ユニットも多数ラインアップ。さまざまなベッドサイドに、最適な利用環境を提供できます。



12.1型アーム式液晶マルチモニター FlexView® 121A

インフォームドコンセントや院内情報端末としても活用可能な液晶マルチモニターです。取付ユニットも豊富に取り揃えており、さまざまな設置環境や用途に適用できます。



15型アーム式液晶マルチモニター FlexView® 150

歯科のチェアサイドモニターや、タッチパネルとしての使用に便利な15インチモデルです。水平移動範囲が広く、収納性の高いアームをラインアップしています。



沖縄県立 南部医療センター・
こども医療センター 様
病床生活のアメニティ向上とストレスの軽減を目指し、
約400床にアーム式液晶モニターを導入。



互恵会 大阪回生病院 様
平成17年の病院移転を契機に透析病棟の全床を
含む約300床にアーム式液晶モニターを導入。

安全に関するご注意
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。
この製品は屋内専用仕様です。なお、水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所や熱源の近くに置いたり、製品の通風孔をふさぐような設置の仕方はしないでください。火災、感電などの原因となることがあります。

●本製品は、医療機器ではありません。●記載の会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。●本仕様は国内向けモデルであり、海外向けモデルとは仕様異なりますので、ご購入の際は国内向けモデルであることをご確認ください。●外観及び仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。●製品の色合いは、撮影・印刷の仕上がり、実物とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。●本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店で必ずお受けとください。(販売店名、ご購入年月日の記入なきものは無効となります。) ●お買い上げの際は、製品本体に製造番号が表示されていますが、保証書記載のものとは一致しているかをお確かめください。●液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。●画面はハメコミ合致です。●画面はハメコミ合致です。

地上アナログテレビ放送用のテレビ受信機で地上デジタルテレビ放送をご覧になるには
このマークの示してあるテレビ受信機単体では、地上デジタルテレビ放送をご覧にはなりません。地上デジタルテレビ放送をご視聴するには、ご使用のテレビ受信機に地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーを接続する方法※1・※2とケーブルテレビで視聴する方法※3があります。
※1 地上デジタルテレビ放送に対応したアンテナ等が必要です。※2 受信する画質や縦横比(アスペクト比)はテレビ受信機の種類により異なります。※3 サービス形態や受信方法等についてはケーブルテレビ事業者にお問い合わせ下さい。



製品に関する情報についてはEIZOホームページ
<http://www.eizo.co.jp>
■製品に関するお問い合わせは 受付時間 月～金 9:30～18:00(祝祭日、弊社休業日を除く)
EIZOコンタクトセンター 0120-956-812

株式会社ナナオ 〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

このカタログはエコマーク認定の用紙を使用しています。
このカタログは100%再生紙を使用しています。

Copyright © 2006 EIZO NANAO CORPORATION. All rights reserved.
2006年7月作成 (060701) Printed in Japan, 7, 2006.5K

その人の、最適。 *ism*

<http://www.eizo.co.jp/>

沖縄県立 南部医療センター・子ども医療センター 様



一般病床／透析病床

病床生活のアメニティ向上とストレスの軽減を目指し、約400床の一般病床および透析病床へアーム式液晶モニターを導入。

■ FlexView 121AT 透析カウンター取付

昭和34年に創立した同院は、平成18年4月に新病院へ移転を行い、新コンセプトでの運営を開始した。多産県の沖縄において、周産期医療、小児医療に重点を置く同センターでは、全434床の大半の病床へ、15インチの大型モニターを搭載したFlexViewを導入している。

入院生活中の利用状況や快適さを考え、大型の15インチモデルを採用。

当センターの前身である沖縄県立那覇病院は、古くから沖縄の医療の一翼を担ってきました。例を挙げると救命救急、小児医療、周産期医療、卒後臨床研修、離島医療支援、地域医療提携、国際保健医療協力など、大病院として果たすべき機能を数多く備えています。これらの中でも、何より当センターの特徴であり強みであるのは、小児医療と周産期医療ですが、これは国内一の多産県ならではの強みといえます。そして、患者さまやご家族の方から求められる役割について、設備や環境の充実を図っていくことは非常に重要であると考えています。FlexViewについてですが、旧那覇病院時代から、その存在には注目をしていました。さまざまなストレスを抱えやすい妊娠中の方や、小さなお子さまにとっては、快適な入院生活を過ごしていただくために欠かせない製品

であると思います。今回は新病院移転に伴い子ども病院機能を持つ母子総合医療センターが設置されたこともあり、FlexViewの導入を決定しました。また、いろいろなデータ表示を行う場合や、患者さまそれぞれの利用状況を想定し、できるだけ大きな画面で楽しんでもらうと15インチのモデルを採用しました。

さまざまなコンテンツを利用でき無理のない楽な姿勢で楽しめるアーム式である点を評価。

例えば小さなお子さまは、ちょっとした回診の際でも、非常に大きなストレスを感じたりするものです。FlexViewなら診療中でもモニターを見やすい位置に引き寄せて楽しめますので、そういった圧迫感もずいぶん解消できているようです。テレビ視聴用途に加えて、お好みのプログラムをビデオオンデマンドにて再生できるようになっており、こちらも好評をいただいております。また、妊娠中の方なども、大きなストレスを感じることなく、心身ともに快適に過ごしていただくことが重要です。そういった点でもFlexViewなら最適な位置にモニターを引き寄せ、無理のない楽な姿勢で楽しんでいただけます。さらに最近では、周産期治療の対象である若い女性の方にとってインターネットへの接続環境は必須となっています。ベッドサイドで気軽にインターネットやメールを利用できる環境を容易に構築できる点も導入を決めたポイントの1つです。

旧来型のテレビと比較して病院側にもメリットの多い移動が容易で省スペースな仕様。

初めてFlexViewが使われる患者さまには非常に

■ FlexView 150ART 床頭台取付



■下地 武義（しもし たけよし）氏
同センター副院長。県立那覇病院総合診療部長を経て、現職に就任。担当科である脳神経外科での経験を基に、同県の医療の一翼を担う新病院で、センター全体のマネジメントに携わる。

好評ですね。画面を引き寄せれば大画面のテレビと変わらない臨場感を楽しめることに加え、リモコン部分から音声が聞こえるため、リモコンを耳元に近づければ、周りを気にせずしっかりと聞き取れる点が、特に喜ばれています。病院側にとっても、旧来型のテレビを設置する場合に比べて省スペース化が図れますし、スタッフからは移動が容易でベッドサイドでの作業の際に邪魔にならない点が評判良いですね。導入前の話になりますが、アームや接続金具が各種用意されており、いろいろな場所へ簡単に適用できるのは、非常にありがたいシステムでした。また、導入した約400台について、稼働後の故障や不具合がほとんどなかった点も満足しています。



沖縄県立 南部医療センター・子ども医療センター
平成18年4月、沖縄県立那覇病院より新病院へ移転。同県を代表する医療拠点として運営される。沖縄県内では待望の「子ども病院」として認知され、母子総合医療センター120床を含む434床を誇る。日本一多産県であり、低出生体重児の比率も日本一である同県。長寿県の伝統にも誇りが見えつつある中、新生児から生活習慣病の危険因子を減らし、子どもたちの健やかな成長を見守り、成人の健康管理を充実させ「長寿と癒しの邦復活」という旗幟を鮮明にした医療を目指している。

〒901-1193 沖縄県島尻郡南風原町字新川118-1
TEL.(098)888-0123
<http://www.hosp.pref.okinawa.jp/nanbu/>

互恵会 大阪回生病院 様



一般病床／透析病床

アメニティ用途はもちろん、治療スケジュールや検査内容の説明等で利用できるアーム式マルチモニターを採用。将来は、ACS用の閲覧端末としての活用も見越す。

■ FlexView 121ASP 床頭台取付

1900年に中之島で創立された互恵会 大阪回生病院は、1965年の中津への移転を経て、2006年末に新病院への移転を行った。「患者様の受診目的がかなえられ、納得でき満足感が得られる病院づくり」を目的とする同院では、移転を契機に計300余床の一般病床および透析病床へ、FlexViewの導入を行った。

アメニティの向上に加え医療環境の充実も視野に導入を決定。

FlexViewの導入は、今回の新病院への移転にあわせて行われました。40余年にわたり旧病院にて医療活動を行ってききましたが、その間の周辺環境や医療の変化に合わせ、新病院は新しいコンセプトの下に開院しました。日本最大となる睡眠医療センターなど10のセンターから構成され、2次救急と予防に力点を置いている点が特徴です。高度医療を先導するため最新設備の導入を図ることはもちろんですが、当院では患者様のベッドサイドでのアメニティ向上も非常に重要であると考えています。FlexViewの選定理由ですが、まず画面の美しさやメーカーへの信頼性が挙げられます。それと導入が決定していた電子カルテや

PACS（医用画像管理システム）との融合によって、より充実した医療環境の整備が図れること、テレビ受像だけではなく、様々なコンテンツにも対応できることも重要な選定要素でした。

TVやVODはもちろん各種情報端末として活用。旧来と比較し利用頻度も向上。

旧来のプリペイドカードによる地上波テレビ放送やビデオオンデマンドでのコンテンツの視聴用途にはじまり、食事メニューの選択、院内情報の閲覧、治療スケジュールや採血データの確認など、さまざまな用途にFlexViewを活用しています。患者さんには、いつでも手を伸ばせば気軽に引き出せる点や、最適な場所に固定して楽な姿勢で楽しめる点が好評です。また、様々なコンテンツが表示できますので、旧来型のテレビと比較して、積極的に利用してもらっています。また、FlexViewを検査内容の説明に用いることで、患者さんの知りたい情報を分かりやすく伝えることができ、不安の解消や信頼感の向上に役立っています。患者さんだけではなく、病院側にとっても導入のメリットは大きいですね。

現行のバイタル確認用途に加え電子カルテやPACSデータの閲覧環境構築も視野に。

FlexViewでテレビやビデオオンデマンドのコンテンツを視聴する場合、専用のICカードを使って課金しています。このカードは、院内のコンビニエンスストアや喫茶店でも利用できるようになっていて、キャッシュレス



■大野 郁子（おおの いくこ）氏
同院看護部長。新病院への移転にあたり、看護現場の視点からFlexViewを評価・検証。アメニティの向上に加え、医用情報端末としての活用を見据え、同院300余床への導入を行う。

病院が実現しています。今後はFlexViewの表示コンテンツを整備・拡充していくことで、ベッドサイドからさまざまな決済が可能になると思います。また、バーコードとパスワードによる認証を行うことで、各端末から個人のバイタルの確認が可能になっていますが、今後は電子カルテやPACSからも、さまざまなデータを取り出せる環境を構築していきたいと考えています。より詳細で正確な情報を、どこでも即座に引き出せるようになれば、インフォームドコンセントに役立てられるばかりではなく、患者さんの容体急変の際や、急に過去の症状などを参照しなければならない時も、非常に有効であると思います。



互恵会 大阪回生病院

2006年に新病院を建築・移転。「患者様の受診目的がかなえられ、納得でき満足感が得られる病院づくり」を目標に掲げ、高度医療の推進、各センター施設の充実、総室や個室をはじめ治療意欲を高める施設環境づくりを実施。来院患者の回復を心身ともにバックアップしている。病診連携や地域に向けた公開医療講座、多彩な健康情報の発信、在宅医療の充実などを推進する拠点として、その機能を拡充することで、同院における医療活動を、地域の文化として根づかせている。

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目6番10号
TEL.(06)6393-6234
<http://www.kaisei-hp.co.jp>

